

第18回 数学教育学会教員講習会案内

一般社団法人 数学教育学会

会長 岡本 久

研究運営部会 部会長 黒田恭史

講習会開催の趣旨：

数学教育学会では、これまで幾多の算数・数学教育に関する研究を行い、研究成果を公にしてきました。現在では、学会誌の J-STAGE での公開も行っており、学会員でなくとも、本学会の最先端の研究成果に触れることが可能となりました。

そこで、非会員である全国の学校現場の先生方にも、その成果や具体的な教育内容をお知りいただき、日々の算数・数学の教育実践に活用していただくことを目的に講習会を開催する次第です。学会員の皆様も多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、本学会の学会員（正会員、学生会員）に入会されましたら、春季年会、夏季研究会、秋季例会などへの参加・発表も可能ですので、ご興味のある方は学会ホームページで入会方法を確認してください。

日時：2025年11月23日（日）14：00～16：00

方法：Zoom によるオンライン開催（後日、オンデマンド配信）

対象：学会員，学校園教員（非会員），教員養成課程学生（非会員）

内容：

14：00－15：30 講演「数学文化の教材化～事例や実践をふまえて～」

白鷗大学 後藤 学

15：30－16：00 意見交換・困りごと相談

講演内容：

前半では、ドイツ・イタリアを訪ねて収集してきた数学と関連が深い科学・芸術の展示品や場所を紹介します。後半では日本の伝統工芸品を題材とした教材化の実践を紹介します。最後に、そういった題材をもとに教材化する視点や開発の方法、これからの数学の教員に求められる姿について述べます。

講師略歴：

後藤 学（Manabu GOTO）

白鷗大学 教育学部発達科学科児童教育専攻 教授

東北大学大学院情報科学研究科博士課程後期課程単位取得退学

数学教育学会 正会員

主著 ・後藤学(2017), 新しい教材を開発する視点－箱根・寄木細工の教材化を事例として－, 数学教育学会誌, Vol.57, No.3・4, pp.159-168, 数学教育学会.

・後藤学(2017), 海外の数学文化を取り入れた教材開発－Optical toy を事例として－数学教育学会誌, Vol.58, No.1・2, pp.61-70, 数学教育学会

申し込み方法：

下記，URL にアクセスし申し込みを行ってください。申込終了後，申込内容が返信されます。

<https://forms.gle/s3bKzGixJMtH6PMB6>

申し込み締切日：2025年11月15日（土）

参加方法：

Zoom によるオンライン参加を希望される場合，事前に Zoom の URL 等をお送りいたしますので，そちらを用いて参加してください。

オンデマンド参加を希望される場合，会の開催後に限定公開でアップします。後日，URL 等をお送りしますので，公開期間内にご視聴ください。

学会ホームページ・入会等に関する各種問い合わせ先：

ホームページ <https://mes-j.or.jp/>

問い合わせ先 meskenkyu@gmail.com